

[ 横浜市長浜ホール ]  
**令和6年度業務報告及び収支決算**  
 [ 横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体 ]

1 施設の概要

施設名	横浜市長浜ホール
所在地	横浜市金沢区長浜1-1-4 長浜野口記念公園内1
構造・規模	ホール棟：鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）、地上2階・地下1階 旧細菌検査室：木造平屋建て
敷地・延床面積	ホール棟：建築面積 544.62 m <sup>2</sup> 、延床面積 984.25 m <sup>2</sup> 旧細菌検査室：建築面積・延床面積 96.69 m <sup>2</sup>
開館日	平成9年5月22日

2 指定管理者

法人名	横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立共同事業体
所在地	横浜市神奈川区栄町5番地1
代表者	株式会社横浜メディアアド 代表取締役社長 三浦 彰久
設立年月日	昭和58年1月22日
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	令和4年4月1日から

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

横浜市の文化政策の背景、および施設の立地している金沢区の現状を踏まえ、また、当事業体が3期15年にわたり培ってきた実績を鑑み、第4期のビジョン(目指すべき姿)を「文化芸術の力でソリューションと健康と幸福を生み出すホール」と策定しました。コロナ禍にあつて、文化施設は「文化芸術が困難な時期にポジティブに立ち向かう方法を提供する場」であることを再認識させられました。文化芸術を活用して地域に交流と活性を創出することが長浜ホールの果たすべき役割であり、存在意義です。そのためには安定的な利用者層を確保し、文化芸術の担い手、理解者を増やすことが必要です。そのことからビジョン実現のためのミッションとして「地域の交流・活性と文化芸術の新たな担い手を創出する」を掲げました。ミッション達成のため、これまでの運営経験とノウハウを活かし、次の6つの方針で長浜ホールの管理運営に取り組みます。

## 【基本方針】

ビジョン：「文化芸術の力でソリューションと健康と幸福を生み出すホール」

ミッション：「地域の交流・活性と文化芸術の新たな担い手を創出する」

- 方針1 利用者づくりを強化・推進する
- 方針2 歴史的建造物の保存・活用に地域のネットワークを活用する
- 方針3 参加型事業で担い手を育成し、市民の交流を促進する
- 方針4 ユーザビリティの検証と利用者拡大のための各種サービスを検討する
- 方針5 オンラインの環境整備を進める
- 方針6 安全・安心を優先して運営します

### (2) 令和6年度の業務の方針

#### ア 全体について

第4期3年目となる令和6年度は、コロナウイルスも第5類感染症に位置付けられ制限緩和に向けた施設運営を心がけます。消毒対策は継続して、安全で安心して利用でき、コンサートに来ることのできる施設像を確立します。ホームページをリニューアルし、アクセスしやすく内容も刷新し情報発信を強化してまいります。新規の事業の展開も考慮に入れて、文化芸術のコンテンツを増やしていく年度を目指します。

#### イ 使命1 文化芸術の活動と体験の場になる

文化芸術をはじめとした活動の場を市民に提供し、市民自らの活動を支援します。文化芸術の鑑賞機会を市民に提供することで体験の場とし、“使ってみたいホール”“行ってみたい施設”像を確立します。

#### ウ 使命2 歴史的建造物を活用し魅力を発信するとともに、文化芸術を媒介とし地域の力を結びつける

横浜市認定歴史的建造物である建造物の保存・活用を適切に行い、施設の魅力を発信するとともにさまざまな施設・団体・資源を有機的に結び付け、文化的コモンズの形成に寄与します。

#### エ 使命3 多様な市民の活動を支援するとともに、次世代を担う文化創造の担い手を育む

市民の活動を支援し、近隣住民をはじめあらゆる人たちに親しまれる施設となるため、社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)の視点も踏まえた市民の文化芸術活動の可能性を広げます。

#### オ 使命4 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

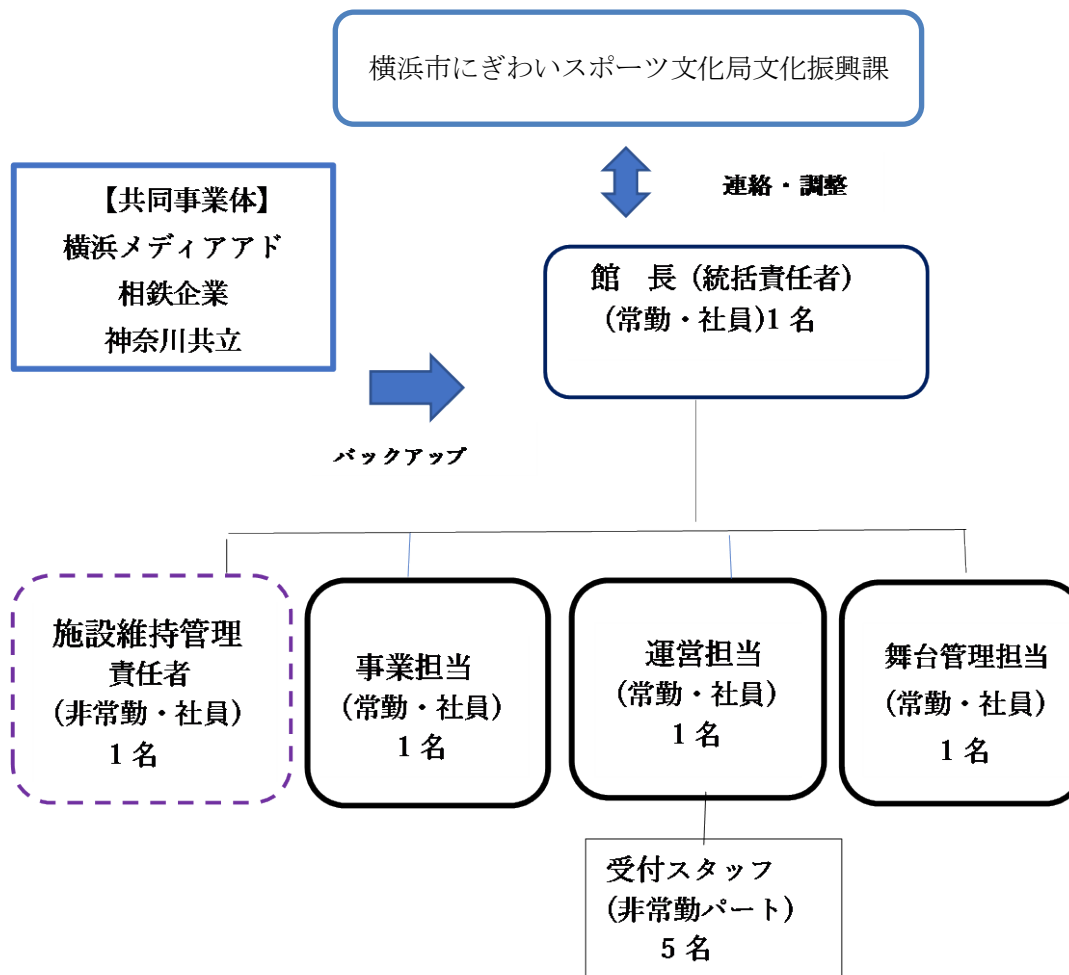
法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設を維持します。また、効率的な経費の執行や収入増への取り組み等により、安定的かつ利用者の視点に立った施設運営を行います。

#### カ 使命5 感染症の影響を想定し、施設運営を継続する。コロナウイルスだけではなくインフル

エンザ等の感染予防対策を徹底する。

令和5年の異常気象が今後も続くような場合を想定した環境整備を整える修繕などを実施。安全に自主事業及び貸館業務を実施し、市民の文化活動の基盤として施設運営を継続します。

#### 4 運営組織の構造、人員配置



本施設の運営組織は、指定管理施設運営のスペシャリストである横浜メディアアドが統括責任者である「館長」をはじめ、事務系職と文化事業を企画する事業等を担当し、高度で総合的な施設管理のスペシャリストである相鉄企業が施設維持管理や清掃業務を、舞台美術のスペシャリストである神奈川共立が舞台管理を担当します。

3社の協業体制のもと、各担当職員には文化事業の企画実施・施設運営・施設管理に幅広い知識と実績を持つ人材を配置し、施設の基盤づくりに尽力します。

また、職員と受付スタッフとの協働体制を確立させ、「専門性」と「地域」の力を融合させた組織構造をもって運営にあたります。

## 5 令和6年度の業務の取組

### (1) 文化事業

令和6年度はコンサートやワークショップの拡大に努め、たくさんの人が気軽に来ることのできるイベント開催を重点的に取り組みます。

### (2) 集会や講演会利用への施設の提供

令和6年度は利用者、来館者の立場に立ち、ユーザビリティの検証から始め、施設利用の拡大に重点的に取り組みます。

### (3) 施設運営

令和6年度は文化施設運営の専門能力を有する職員と地域から登用したスタッフとの共同体制の下、「専門性」と「市民・施設利用者・地域」の力を融合させた組織構造をもって運営にあたり、持続可能性を高める管理運営に努めます。

### (4) 施設管理

施設の状態を常に良好に保ち、安全かつ快適に利用することができるように適切な管理を行います。感染症対策はガイドラインの動向に寄り添いながら、これまで培ってきた知見を最大限活用して実施します。施設及び設備の維持保全及び修繕については、利用者、来館者が安全かつ快適に利用できるように適宜適切に取り組むとともに、大きな修繕については、横浜市と十分協議を進めながら施設及び設備の長寿命化の視点で計画立案します。

### (5) 収支

令和6年度は空き室を少なく、貸館利用者を増やし、指定管理料に依存しない収支構造に取り組みます。

### (6) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

令和6年度は、計画書、月報、報告書の具体的且つ簡潔な記載により、分かりやすく業務評価に繋げていきます。

### (7) その他

令和6年度は、異常気象と光熱費高騰による支出が多くなると見込まれます。いかに経費削減をするか状況を見ながら取り組みます

※ 5 (1) ～ (7) の具体的な取組内容や指標は、指定管理業務計画表に記載します。

6 使命の指標の達成状況

(1) 使命1 文化芸術の活動と体験の場になる。

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績	
1	貸館利用率	ホール	80%	75%	83%	76%	—	78%	—
		会議室	23%	47%	24%	28%	—	48%	—
		多目的ルーム	54%	59%	55%	60%	—	60%	—
		音楽練習室	77%	89%	83%	88%	—	90%	—
2	総来場者数	25235 人	34,400 人	2,8138 人	24,994 人	—	35,400 人	—	
3	貸館利用者の新規利用率	10%	1年目 +1%	11%	12%	—	1年目 +4%	—	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者の状況についての現状把握	R 4 実績	100% アンケート等で現状把握
		R 5 達成指標	アンケート等で現状把握ができています
		R 5 実績	自主事業ごとにアンケート実施、直接対話で現状把握 「諸室はいつも綺麗に準備されて練習に集中できた」 「ホール利用では舞台担当や職員が親切に対応してもらい気持ちよく利用できた」など声を頂いている。
		R 6 実績	イベントごとのアンケートなどで苦情などはほとんどなく高評価を得ている。諸室では夏場の高温でご迷惑をおかけしていたが、職員が屋根に水を撒き、扇風機を増設するなど努力の結果、利用者から苦情はなく、感謝の言葉を頂いている。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アンケート等で把握した内容を現状に活かしている
		R 8 実績	—
2	40歳以下の利用者比率	R 4 実績	18% 発表会出演者を含む
		R 5 達成指標	アンケート等で全体の20%を確認
		R 5 実績	自主事業(キッズダンススクール・夏休みファミリーコンサート・夏休みこども体験教室)など子供向け事業を増やした。20%増
		R 6 実績	R5年度から継続している事業と発表会が増えたことで25%増
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アンケート等で全体の30%を確認
		R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組んだ事項

- ① 事業開催時等に合わせてアンケートを17回実施し、回収率70%以上となった。
- ② 施設利用について利用者懇談会や利用相談等で意見を聴取した。
- ③ 上記で得た結果を解析し、利用者や事業参加者の現状・ニーズを把握して、職員間で共有した。

エ 使命1の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
文化芸術の活動と体験の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧細菌検査室の保存・展示物管理を通年実施。また、一般公開をホール開館日に合わせて実施（9:00～17:00）。</li> <li>・貸館受付（9:00～21:00）と音響・照明担当者の配置。</li> <li>・貸館利用率は以下のとおり ホール：76.3% 会議室：28.2% 多目的ルーム：59.9% 音楽練習室：87.6%</li> <li>・自主事業でアンケート年17回実施。懇談会年1回、利用相談は月平均7～8回の実施。</li> <li>・スタッフミーティング月1回開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧細菌検査室の保存・公開により、野口英世博士をはじめとする歴史的価値の継承と市民理解を促進した。</li> <li>・利用者アンケート回収率70%以上達成。</li> <li>・利用者との対話や相談を通じてサービス向上。スタッフ間の情報共有も円滑に行われた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用率の低い会議室や多目的ルームの活用促進。</li> <li>・高齢化する固定客層への対応（幅広い年齢層の来場者確保）</li> <li>・音響設備などの要望に対する導入検討（利用頻度とのバランス）</li> </ul>

(2) 使命2 歴史的建造物の魅力を発信するとともに、文化芸術を媒介に地域の力を結びつける

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R4 実績	R5 達成 指標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績
1	建築物や地域の歴史・魅力を発信する事業数	4本	4本	3本	3本	—	5本	—
2	地域の施設・団体等と共催・連携して実施する事業数	1本	1本	1本	3本	—	2本	—
3	長浜ホール賛同団体公募の実施	0	5団体	3団体	10団体	—	10団体	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	建築物について歴史的建造物としての適切な保存・管理	R4実績	見学者ノートで好意的な書き込み 70%
		R5達成指標	見学者ノートでの好意的な意見 80%以上
		R5実績	見学者に散歩の会など個人の団体が増加、見学ノートを定期的に確認、「旧細菌検査室を保存していることに感謝している」「野口英世が実際にこの場所に居た事に驚いた」「歴史的建造物の保存は大変だと思う」など
		R6実績	見学ノートを定期的に確認。「コンサート後に寄って見たがこんな素晴らしい」「スタッフが色々説明をしてくれて感謝」などの声。1号停留所の移転を当館と勘違いされた方が多く見学に来ていて、「新たな発見をし感動しました」と喜んだ声も頂きました。
		R7実績	—
		R8達成指標	見学者ノートでの好意的意見 80%以上
		R8実績	—
2	地域等の施設・団体等との連携状況のレポート	R4実績	生涯学習フェスティバル金沢区役所との共催 (ホール11団体・ホワイエ4団体・多目的ルーム5団体)。夏休みファミリーコンサート63名参加。長浜ホール感謝祭中止
		R5達成指標	1本
		R5実績	生涯学習フェスティバル金沢区役所との共催 (ホール11団体・ホワイエ4団体・多目的ルーム5団体)。夏休みファミリーコンサート97名参加。長浜ホール感謝祭延べ378名来館
		R6実績	生涯学習フェスティバル金沢区役所との共催 (ホール11団体・ホワイエ4団体・多目的ルーム5団体)。夏休みファミリーコンサート89名参加。長浜ホール感謝祭延べ840名来館
		R7実績	—
		R8達成指標	3本
		R8実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組んだ事項

- ① 建築物や地域の歴史・魅力を発信する事業を開催した。地域住民に野口英世と長浜ホール（旧細菌検査室）との繋がりを認知してもらうため、野口英世フェア実施し、横浜野口顕彰会の協力により来場者が野口英世や長浜検疫所の歴史を学ぶ機会を提供した。また、野口英世博士への手紙コンテスト入賞者の作品展示や新たな集客確保のため横浜出身の二ツ目噺家による落語会を開催した。
- ② 夏休みこども体験教室では、横浜野口顕彰会の協力で電子顕微鏡を10台用意し、子どもたちにミクロの世界を体験してもらった。また、ペットボトルの蓋を加工して顕微鏡を作るワークショップや旧細菌検査室の見学も行い、野口博士と同じ空間を楽しんでもらった。
- ③ 生涯学習フェスティバルや長浜ホール感謝祭などでは、団体と連携した事業を展開し、延べ32団体に参加していただいた。
- ④ 延期していた長浜ホール賛同団体の公募を開始し、ホール事業に10社もの賛同をいただいた。

エ 使命2の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
野口英世博士の関連事業の実施	野口英世フェアの開催 （11月9日実施、来場者数：延べ300名以上）	・アンケートによる満足度81% 落語会は「地元の人でとても親しみやすくとても楽しかった」 「定期的に開催してほしい」など好評だった。	落語で野口英世を題材とした演目があると長浜ホールならではの企画となるが、新作で作らないといけないため、演者の負担が大きい。季節的に散歩も兼ねて来場した人も多く、今後も同じ日程で開催予定。
	野口英世博士への手紙コンテスト （参加者数：5校44人）	アンケートによる満足度90%	金沢区内の参加校が減少傾向にある。
	夏休み体験教室 （8月10日実施、参加者数：32人）	アンケートによる満足度92% 「初めて手作りのけんぴきょうを作ったけれど、やさしく教えてくれたから楽しかったです」 「はじめは子どもだけが夢中だったが、大人が本気で楽しめた。区内でこんな楽しいイベントができて良かった」など親子で楽しめるイベントとして好評だった。	横浜野口顕彰会スタッフの高齢化の影響により、人員が減少してイベント自体のクオリティ低下してしまっている。対象者（小学生）との世代のギャップを感じる。

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
地域の施設、団体と連携した事業を開催	夏休みファミリーコンサート （8月3日実施、集客人数：89名） オカピさんの演出によるストーリー仕立てのコンサート。1時間通しのコンサートだが子どもたちは集中して、スチールパンに興味を示していた。	アンケートによる満足度93% 「楽しい時間を親子で楽しめた」「とても癒され、子どもたちも笑顔いっぱい素敵でコンサートでした」「色々な楽器の音もきれいでユーモアあふれるコンサートでした」など好評だった。	出演者（オカピさん）の知名度により集客は予想できるが、今後の出演が確定的ではないため、安定した集客確保に向け調整を進める必要がある。
	生涯学習フェスティバル （10月26日実施、参加団体数：18団体、集客人数：770名） まるごとギャラリーの協賛により、福浦工業団地の事業所から出る廃材を利用したアート作品の展示会場として協力。 散歩の会や金沢シティガイドなどとも連携し、来場者数の確保に努めた。	・アンケートによる満足79% 「楽しく生き生きとされているのが伝わり、こちらも元気をもらうことができました」「音楽ホールとして良い。歌っていて声が響いて気持ち良かった」など来場者・出演者ともに好評だった。  ・来場者数も前年より12%も上回った。（10,320人→12,550人）	金沢区との共催事業で行い予想より多くの参加団体に参加いただいたため、控室からの移動や音出しができないなど、参加者にご不便を掛けてしまった。 次年度はイベント運営に無理のない範囲で募集をかけていく。
	長浜ホール感謝祭 （6月30日実施、参加団体数：14団体、集客人数：840名）	・アンケートによる満足90% 「地元で活動するグループの演奏が聴けてとても貴重な経験だった」「地元の音楽活動が知れて良かった」など地域の文化活動支援につながり好評だった。 また、参加者からも「気持ちよく練習できている」「練習室に来るのが楽しみ」など施設利用に関して好評いただいている。 ・ホワイエでの展示にも多くの方が説明を受けていた。	
長浜ホール賛同団体公募の実施	長浜ホールの活動に賛同する企業の公募を実施した。	10社から賛同いただいた。 ・金沢シーサイドFM ・山陽印刷（株） ・（株）タウンニュース ・J:COM ・関東プリンテック ・アーチストネットワーク＋コンパス ・ブレーメン ・横浜シーサイドライン ・弾デザイン事務所 ・（一社）全日本ピアノ指導者協会 横浜中央支部	複数の企業からまとめて賛同を求めることが難しく、何かあるごとに単体で協力を求めている。

(3) 使命3 多様な市民の活動を支援するとともに、次世代を担う文化創造の担い手を育む

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	事業参加数に対する継続的な近隣住民の割合	75%	40%	70%	75%	—	50%	—
2	学校プログラムの実施数	3校	3校	3校	2校	—	4校	—
3	参加・体験型事業への総参加者数	80人	150人	100人	130人	—	200人	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	事業参加者、子どもたちや学校の定性分析	R 4 実績	学校プログラムによって音楽・芸術に興味を持った。・オペラを初めて目の前で聞いた・等身大の自画像を制作した・自分たちで作詞作曲した曲を卒業式で発表した
		R 5 達成指標	アンケート等に寄せられた感想等を通して特に子どもたちが文化芸術分野に興味を持った様子を把握できている
		R 5 実績	学校プログラム3校すべて美術系の依頼。大きな作品を共同制作する経験、みんなの意見や考えを知る機会。家紋という普段の生活にはない題材で歴史の勉強にもなった。
		R 6 実績	学校プログラム2校。等身大の自画像、全身を段ボールに型取りし、大きな作品作りで楽しい。アフリカ音楽のリズムに乗って自然に体が動いていた。子供たちもとても楽しかったと好評。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	学校から文化芸術の体験やアウトリーチを望む声が長浜ホールに寄せられている
		R 8 実績	—
2	事業参加者の交流の度合い	R 4 実績	ゴスペルワークショップ参加者同士の交流が深まり合唱にも良い影響が出ている 80%
		R 5 達成指標	アンケート等で参加者同志の交流が深まったとの回答 50%
		R 5 実績	ゴスペルワークショップでは前回からの参加者が多くますます連帯感が増している。
		R 6 実績	ゴスペルワークショップ前回までの講師が病気のため変更したが、新講師が好評で次年度への継続が多数あった。感謝祭出演者同士の交流が深まり、ジョイントコンサートを実施したと報告を受けた。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アンケート等で参加者同志の交流が深まったとの回答 80%
		R 8 実績	—

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組んだ事項

- ① ゴスペルワークショップやキッズダンススクールなど幅広い世代、年齢層が参加可能なワークショップ型の事業を企画しました。アンケートでは非常に高い満足度を得られ、継続実施を求められるなど地域住民の活動拠点となっています。
- ② みず色の風コンサートや TABUNOKI ミュージックテラスとホールの近隣地域で活動中のアーティストによるコンサートを年6回開催し、地元アーティストの活動支援を行いました。来場

者も公演や出演者を楽しみにホールにお越しになることが多く、地域のイベントとして定着してきています。

- ③ 施設にゆかりのアーティストを小学校に紹介する学校プログラムにコーディネーターとして参画し、区内2校の小学校を訪問しました。

エ 使命3の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績 (アウトプット)	成果 (アウトカム)	課題
文化芸術の鑑賞機会を創出	みず色の風コンサート (年4回、集客人数：265人) 七澤氏が毎回ゲストと演奏。	・アンケートによる満足91% 「良い気分転換になりました」 「近くの素敵なホールで生の演奏が聴けるのはありがたい」など好評だった。	みず色の風コンサートには、出演者目当ての固定客がいるが高齢者が多く、今後の安定した集客確保に向けて、出演者の見直しなど新たな検討が必要。
	TABUNOKI ミュージックテラス (年2回、集客人数：142人) 出口氏が毎回ゲストと演奏。	・アンケートによる満足89% 「テーマに沿った選曲で、出演者による説明も親しみやすく、アットホームなコンサートで良かった」「明るく、楽しく、気軽に音楽が楽しめる」など好評だった。	固定客はいるが特徴が無いところが今後の課題である。
幅広い世代、年齢層が参加可能なワークショップ型の事業を企画	ゴスペルワークショップ (実施時期：4～9月、参加人数：368人) 講師が変更になったが、以前より一体感のあるワークショップとなった。講師の人気も日を増すごとに上がり毎回楽しい時間になっている。	・アンケートによる満足度100% 「長谷川先生の楽しいご指導のもと、また、音響のすばらしいホールという恵まれた環境の中で、ゴスペルを楽しむことができました」など好評だった。	新規参加者1名がどうしてもなじみず、スタッフも講師も気にかけて声掛けもしていましたが、前期で退会されて残念だった。
	キッズダンススクール (実施時期：4～9月、参加人数：14名、対象者：5～9歳) ほとんどの参加者が前期・後期を継続して参加し、金沢文庫芸術祭で発表ステージを行った。	・アンケートによる満足100% アンケートでは保護者から「やる気や気分のムラもある中、帰り道は来週も行く！と毎回言っていました。」などのお声をいただき、子どもたちの活動の場を提供することができた。	兄弟姉妹がいるので年齢条件に合わない場合は受け付けるようにしている。全体のパフォーマンスに影響が出るが講師も問題なしと引き受けてくれている。
	エンジョイピアノ (実施時期：通年、利用枠数：350枠、参加人数：388人) ホールの雰囲気を感じながらピアノの練習や、ピアノ伴奏での楽器の練習などができるイベント	・1枠に数人で利用する方もおり、他の楽器の練習にも使用されている。利用者の需要が高まっている。 ・申し込みが始まると予約が殺到し、利用者に人気がある。	

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
学校プログラムへの参画	<p>学校プログラム （参加校：2校（六浦南小学校、文庫小学校））</p> <p>六浦南小：段ボールに等身大の自分を型取り、理想の自分を色付けし、自由な表現、自分の考えなどを表現する。最後に各自の作品を合体させる。</p> <p>文庫小：アフリカ民族音楽の演奏やダンスを体感してもらう。</p>	<p>普段の授業と違い緊張から始まったが、すぐに積極的に制作に没頭して作業をしていた友達と協力しながらの作業。どうしても色付けや顔の表情が無難なものになってしまった。</p> <p>アフリカ民族音楽を体感した子供たちは自由に体を動かし学年での一体感や自尊感情を育むことができた。</p>	

(4) 使命4 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R4 実績	R5 達成 指標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	0	0件	0	0	—	0件	—
2	法定点検の実施率	100%	100%	100%	100%	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	100%	90%	109%	65%	—	90%	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R4 実績	施設利用受付・終了時にヒアリング
		R5 達成指標	施設利用者へのアンケート回収時に利用者の協力を得られる場合はヒアリングを行っている。
		R5 実績	施設利用受付時及び終了時にヒアリング
		R6 実績	感謝祭及び施設利用受付時及び終了時にヒアリング
		R7 実績	—
		R8 達成指標	施設の使用状況について利用者に行ったヒアリングの内容のうち必要と判断される案件に対し迅速に対応できている。
		R8 実績	—
2	管理運営費推移の要因分析	R4 実績	光熱費の高騰や経年による修繕費の増加など不確定要素が多く毎月予算と実績の検証を行う
		R5 達成指標	年度ごとの仮決算で、予算と差異が生じた管理運営費すべてについて要因分析と改善策検討を行っている。
		R5 実績	電気・ガス料金が予測よりオーバーしてしまった。値上げが要因
		R6 実績	電気・ガス・料金オーバー、冷温水発生器の経年劣化による。
		R7 実績	—
		R8 達成指標	第四期指定管理期間の管理運営費の推移の中で変動のある科目について要因を分析し改善案を策定する。
		R8 実績	—
3	設備機器の予防保全のための施設巡回点検を行う	R4 実績	毎月の定期点検と重要個所は日々のチェック。
		R5 達成指標	毎月1回予防保全関連のスーパーバイザーによる施設巡回点検を職員立ち合いのも行う。
		R5 実績	毎月の施設定期点検及び自家用電気工作物定期点検・エレベータ点検・冷温水発生器の中央監視盤点検
		R6 実績	毎月の施設定期点検及び自家用電気工作物定期点検・エレベータ点検・冷温水発生器の中央監視盤点検
		R7 実績	—
		R8 達成指標	第毎月1回予防保全関連のスーパーバイザーによる施設巡回点検により、利用者が快適に施設を使用できる状態を保つ。
		R8 実績	—

4	美観維持のための清掃	R 4 実績	週 3 回室内外の清掃、年 6 回の清掃業者の作業。
		R 5 達成指標	週 3 回の清掃員による清掃と年 6 回の清掃業者による作業、及び職員の日頃の清掃・点検により施設的美観が保たれている。
		R 5 実績	週 3 回の清掃員による清掃と年 6 回の清掃業者による作業、及び職員の日頃の清掃・点検を実施
		R 6 実績	週 3 回の清掃員による清掃と年 6 回の清掃業者による作業、及び職員の日頃の清掃・点検を実施
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	施設的美観が保たれ、美観についてのクレームがゼロになる。
		R 8 実績	—
5	経費節減を意図した不具合対応	R 4 実績	軽微な不具合は職員による修繕を行っている。
		R 5 達成指標	施設の予防保全のための不具合箇所の早期発見
		R 5 実績	軽微な不具合は職員による修繕を行っている。
		R 6 実績	軽微な不具合は職員による修繕を行っている。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	不具合箇所の早期発見が予防保全をもたらし経費節減につなげる。
		R 8 実績	—
6	長寿命化のための設備機器点検	R 4 実績	日々の点検と設備スタッフとのミーティングにより修繕箇所の順番を決め長いスパンで計画を立てる
		R 5 達成指標	設備等維持管理項目一覧に沿い、計画的な管理を行う。
		R 5 実績	毎月の設備点検を設備担当による実施
		R 6 実績	毎月の設備点検を設備担当による実施—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	計画的な管理を行うことで施設の長寿命化が図られている。
		R 8 実績	—

ウ 使命 4 を達成するために重点的に取り組んだ事項

- ① 施設使用状況について利用者からヒアリングを行い、必要な案件を整理した。
- ② 毎月 1 回のスーパーバイザーによる施設点検を、職員立ち合いのもと実施した。
- ③ 設備等維持管理項目一覧に沿い、計画的な管理を行った。

エ 使命 4 の令和 6 年度実績、成果及び課題

項目	実績 (アウトプット)	成果 (アウトプット)	課題
施設運営状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常点検と月 1 回の定期点検を実施。</li> <li>・ 軽微な不具合は施設対応で、重大な修繕は横浜市へ報告を行った。</li> <li>・ 自主事業収入：271 万円 利用料金収入：595 万円 雑収入：77 万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安定した施設運営と安全管理体制の確立。</li> <li>・ 自主事業は目標を上回る成果となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雑収入（飲料ベンダー・撮影協力費等）が目標未達。</li> <li>・ 外壁及び建具の補修が必要となっているが、歴史的建造物の観点で関係者との調整が必要。</li> <li>・ 撮影ロケ地・企業イベント利用の実績なし（希望はあるが調整難）。</li> </ul>

## 令和6年度 「横浜市長浜ホール」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	37,891,914		37,891,914	38,408,081	△ 516,167	横浜市より指定管理料
利用料金収入	7,160,000		7,160,000	5,946,378	1,213,622	
自主事業収入	1,990,000		1,990,000	2,707,800	△ 717,800	ホール外事業・学校プログラムを含む
自主事業収入(上記以外)			0	32,200	△ 32,200	預かりチケット他
雑入	500,000	0	500,000	769,940	△ 269,940	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	180,000		180,000	95,001	84,999	
			0		0	
その他(物価高騰・キャッシュレス補填)	320,000		320,000	674,939	△ 354,939	物価高騰・キャッシュレス補填
収入合計	47,541,914	0	47,541,914	47,864,399	△ 322,485	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	23,694,914	0	23,694,914	25,401,128	△ 1,706,214	
給与・賃金	23,694,914	0	23,694,914	25,401,128	△ 1,706,214	共同事業体職員、パート職員給与
社会保険料			0		0	共同事業体各社にて出向者分を負担
通勤手当			0		0	上記に含む
健康診断費			0		0	共同事業体各社にて出向者分を負担
勤労者福祉共済掛金			0		0	共同事業体各社にて出向者分を負担
退職給付引当金繰入額			0		0	共同事業体各社にて出向者分を負担
事務費	2,550,000	0	2,550,000	2,859,767	△ 309,767	
旅費	95,000		95,000	40,751	54,249	
消耗品費	150,000		150,000	199,792	△ 49,792	コピー用紙をはじめとした事務用品の購入費の増
会議諸費	12,000		12,000	7,000	5,000	
印刷製本費	300,000		300,000	461,555	△ 161,555	広報・宣伝費含む。広告費用の増、案内パンフレット増刷に伴う増
通信費	570,000	0	570,000	561,245	8,755	ホームページ管理費含む
使用料及び賃借料	82,000	0	82,000	81,840	160	
横浜市への支払分	82,000		82,000	81,840	160	目的外使用料
その他			0	0	0	
備品購入費	400,000		400,000	515,273	△ 115,273	コピー機保守費用の増、キャッシュレス機能導入に伴う増
図書購入費	10,000		10,000	35,000	△ 25,000	新聞購読料の増
施設賠償責任保険	35,000		35,000	35,400	△ 400	
職員等研修費	10,000		10,000	0	10,000	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	876,000		876,000	905,080	△ 29,080	
手数料	0		0	6,831	△ 6,831	
地域協力費	10,000		10,000	10,000	0	金沢区観光協会会費
事業費	2,500,000	0	2,500,000	2,099,571	400,429	
自主事業費	2,500,000		2,500,000	2,099,571	400,429	学校プログラム等経費を含む
			0	0	0	
管理費	17,898,000	0	17,898,000	19,423,145	△ 1,525,145	
光熱水費	7,180,000	0	7,180,000	7,261,609	△ 81,609	
電気料金	3,980,000	0	3,980,000	3,899,904	80,096	
ガス料金	2,400,000	0	2,400,000	2,775,217	△ 375,217	
水道料金	800,000		800,000	586,488	213,512	
清掃費	4,432,000		4,432,000	4,760,800	△ 328,800	清掃委託費の増
修繕費	1,700,000		1,700,000	1,071,453	628,547	
機械警備費	594,000		594,000	594,000	0	
設備保全費	3,992,000	0	3,992,000	5,735,283	△ 1,743,283	
空調衛生設備保守	528,000		528,000	1,520,200	△ 992,200	中央監視盤タブレット電池交換及び冷温水発生器の交換工事に 向けてメンテナンスに伴う増
消防設備保守	198,000		198,000	198,000	0	
電気設備保守	0		0	1,210,035	△ 1,210,035	エレベーター保守費用の対応に伴う増
害虫駆除清掃保守	150,000		150,000	0	150,000	職員対応に伴う減
駐車場設備保全費	120,000		120,000	0	120,000	職員対応に伴う減
その他保全費	2,996,000		2,996,000	2,807,048	188,952	舞台保守費含む
共益費	0		0	0	0	
公租公課	10,000	0	10,000	0	10,000	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	10,000		10,000	0	10,000	
その他( )	0		0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	889,000	0	889,000	885,000	4,000	
本部分	889,000		889,000	885,000	4,000	本社費、所管課及び総務・人事・経理他関係費として計上
当該施設分			0		0	
			0		0	
支出合計	47,541,914	0	47,541,914	50,668,611	△ 3,126,697	
差引	0	0	0	△ 2,804,212	2,804,212	